



一時限終了のチャイム  
 続いてテーマ音楽が流れる  
 子供達は一斉に衣服を脱ぎ  
 元気に乾布まさつの支度をする

「右手にタオルを持って  
 左手首から肩にかけて  
 用意、始め」

明るいアナウンサーの声  
 全校一斉にタオルが走る走る

楽しい曲に合わせてゴツシゴツシ  
 手から肩、肩から胸へ  
 そして足、腹、背中へと……  
 五分後には素肌に赤みがさす

春、夏、秋と鍛えぬいた皮膚は  
 冬の外気にも耐えられる  
 今日も寒風について  
 元気なかけ声が  
 校庭に響きわたる

昭和56年3月1日  
 編集／発行  
 岡崎市教育委員会



(みんな元気に乾布まさつー六ッ美中小)

岡崎の誇る世界的な地理学者、志賀重昂氏を、私の叔父杉浦義一が志賀塾で教えたという関係もあるので、氏の未だ世に知られていない一面を浮き彫りにしたいと思ひ筆を取った。

先ず第一に志賀重昂氏は、大正時代から既に世界には必ず石油危機時代が到来することを看破されていたことで、その先見の明に敬服する。

氏は昭和二年ごろ、私の母校県立第二

慧眼に感服せざるを得ない。

第二に氏が幼少の頃、教えを受けた恩師のことを、異境の果てにいても忘れなかったことである。

氏は明治四十三年三月、四十八歳の時軍艦「生駒」に乗船して、世界一周の視察旅行をされた。同年十二月帰国の途中アフリカ大陸南端の喜望峯峰を通過した。その時、中天にかかる名月の雄大な景観を漢詩にして故郷岡崎の志賀塾の師、杉

— 教育随想 —

# 志賀重昂氏の一面

杉 浦 透



中学校（現県立岡崎高校）へ講演に来られ、「将来の世界は、石油戦だ。石油の供給の多い国家は光り栄え、石油の少ない国家は消滅する」と強調されるとともに「如何に黄金を費すとも石油を獲得しておかねばならぬ時代が来りつゝある」と警鐘された。

今や氏の予言は正しの中し、石油危機時代は到来したのである。改めて氏の

倍子煩惱であったことである。即ち多忙

浦義一に送ったのである。力感あふれる文字の漢詞は、雄壮な喜望峰の景観が彷彿として眼前に現れてくる感がある。しかも末尾に「杉浦先生ご訂正を乞う」との謙虚さも忘れない氏の礼儀正しさには襟を正さずにはいられない。（この書は縦五尺、横四尺。表装して筆者保存）

最後に、氏は一男一女の父として人一倍子煩悩であったことである。即ち多忙

な政治生活の寸暇をさいて、長女鈴江が満一歳を迎えた明治二十九年七月から日育ちゆく我が娘の姿を耽々と書き記されたのである。この日記は、昨年五月鈴江が八十四歳で他界した遺品の中からみつかったものである。和綴り三冊の美濃紙に、頑まない、いとしい娘の成長ぶりを墨で克明に書き残したもので、明治三十年四月七日に書き終わっている。

過日、岡崎を訪れた氏の長男富士男氏から私の所へ送られた「鈴江日記」の一部を引用させていただいて筆を置く。

明治二十九年十二月十七日

……米国教育雑誌に「小児は未だ其物の名を言ふ能はざれども、大人より名を言ひ而して之を小児に問へば児は輒ち指して此物なりと答へ、而して其の指したる物を誤まらざること多し」云々とあり。すず江「カーサン」と言ひ得ず、然れども「カーサンはドレ」とて問へば、直ちに母上を指し、又「トウサン」「バアヤ」「フサ」「タツ」「スズエ」と充分に言ひ得ずして、大人より問へば、直ちに確然と其人を指し、「スズエさんドレ」と問へば自己の顔を指すなり。

此日之を験して充分に証し得たり。

……

（美合小学校校医）

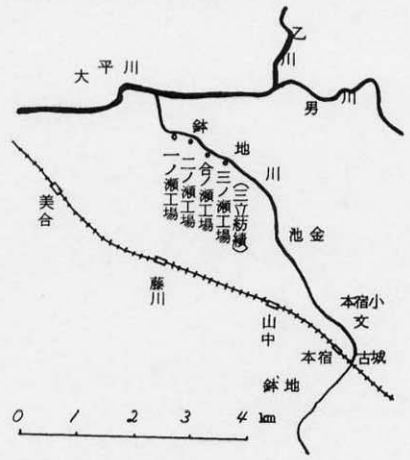


おりづる外交

三 浦 久 子

海外研修に行くので何か日本のなものをと思つて持っていたのが「いろ紙」である。いろ紙のおかげで様々な土地で様々なふれあいを持つことができた。

最初に訪ねた小学校では、給食時に隣にいた子に「おりづる」をあげたことから、そのクラスの午後の授業はめちやくちやになつてしまった。授業中なのに「おりづる」がほしいという子が続出したのだ。結局、先生の許可を得て紙、はさみを借り、「おりづる教室」開設となつてしまった。廊下に出てみると、男の先生はすわりこんで子どもといっしょに紙飛行機を作つて飛ばしている。学校訪問をしてかえつて迷惑をかけてしまった。おり紙が偉力を発揮したのは学校だけではない。ロスアンゼルス行きの飛行機内では、団員の一人が「おりづるは幸せをよぶ」なんて宣伝するので、老婦人の団体の人達から「私に作つて」とせがまれ大忙しということもあつた。団長さんは、おりづるやおり紙の本をプレゼン



—ふるさとの山河—

## 鉾川地

鉾地に発し、保母で大平川に流れ込む鉾地川は、長さ約八キロメートルの短い川である。

たった八キロメートルというこの川も古くから、鉾地をはじめ、本宿・池金・保母の人々の生活を支えてきた。

本宿あたりでは、江戸時代から雨が降れば水害、晴ればかんばんつと、水との戦いの連続であった。水が少なければ部落間で水げんか起きた。この収拾策として、利害関係の異なった二名以上で水番をし、盗水防止と公平配水を行った。

江戸時代より前、今の名鉄本宿駅の東、古城という地に山中本宿城があった。この城の堀に、鉾地川が利用されていた。

本宿町東浦から同町後田までの曲がりくねった流形を巧みに利用し、川幅を現在の約三倍に広げ、河床は三メートル程深くし、城の守りとなっていた。

池金あたりでは、江戸時代末期まで鉾

地川の流路が定まっていなかった。あちこちへしみるように流れ、そこらじゅうにドンボチ（水たまり）を作っていた。明治四十一年から五、六年かけて河川改修をし、田の真中を流れていた流路を山のふもとに沿いにし、耕地整理を行った。

鉾地川は、保母に入ると勾配が増し、流れが速くなる。三の瀬、二の瀬、一の瀬という曲がりくねった所は特に流れが速く、この水力を利用して明治十六年、ガラ紡業の創業となった。資本の問題から二、三軒が仲間になってえん堤、水車を造る集合工場が川沿いに建てられた。

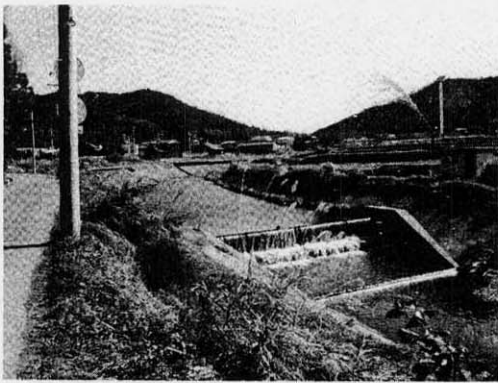
大正初期までランプの灯下で作業をしていたので火災が多く、最初に操業した三立紡績では、水車で一緒に自家発電をし、燈す電気だけはおこしていた。

保母の山もこの頃になると開発が進み木が伐採され、水量がかなり減った。そのため、水源涵養林をガラ紡工場を持つ

ている人々で買ったり、たき木を切ったりしないようにもした。また、共同利用の水を、堤をくずしてぬげがけをしないよう協定を結び、一定の生産量を保持できるようにした。この協定を破った場合には「たたきばせ」という、我田引水のためにくずされた堤を指す棒とも、制裁を加える談合ともいわれるものがあつた。

こうしたことから、このように小さな川でもガラ紡工場が長続きたのである。しかし、どうしても水量の減少には勝てず、また、設備の近代化で大きな機械を使うようになり、大きな動力が必要となり、水車の動力では間に合わなくなつた。そこで大正九年、電気が動力として使われるようになり、鉾地川の水が工業に貢献するものこの時までとなつた。

(美合小 桑木 富士子)



したことからスチューブデスよりキスのプレゼントを受けにんまり。おりづる外交、成功なり。(福岡中)

女神の家を訪ねて

内田義和

「あつた。これだ。ペレーの涙だ。」ガイドに案内されて行つた所では見つからず落胆していた直後の事である。パホエホ工溶岩を写真におさめようとリムジーカーを止めたところ、あるではないか足元に、キラリと光る美しい雫。径三ミリほどの黒い真珠のような玉。これこそ火の女神ペレーの涙である。

「あつたぞ。」

「おつ、まだあるぞ。」

「これはペレーの毛だ。」

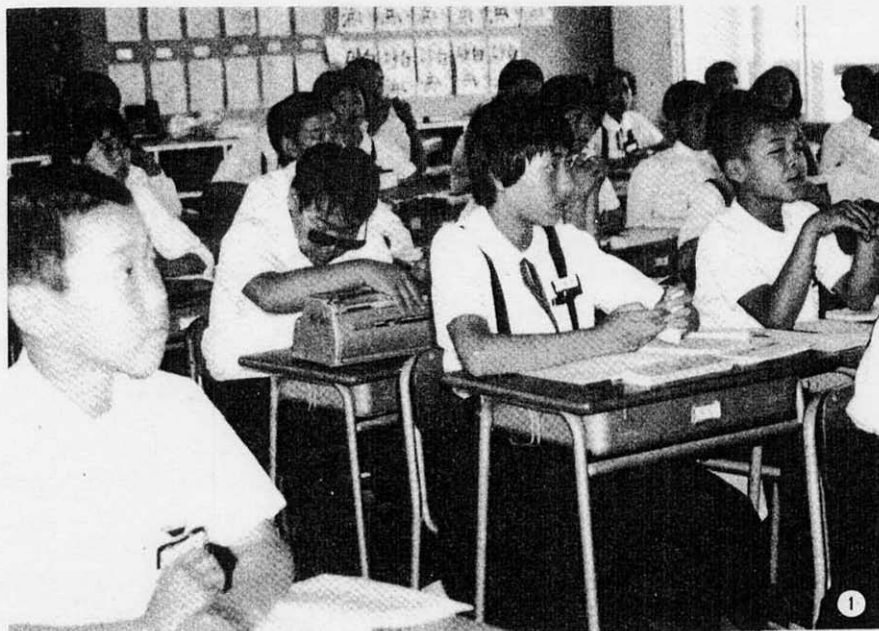
大の男が四人、子どもが宝物でも捜すように喜々として溶岩砂漠を走りまわつた。声もなく、はげしく捜し回るその姿は、さぞこつけいに映つたことだろう。我を忘れるほどの喜びであつた。

ペレーの涙、そして金色に輝くペレーの毛。これらは、火山噴火の時にできる神秘的な産物である。女神の家の入口、ハレマウマウ火口をながめることができたと、これらのサンプルを採集できたことで、大いに満足して帰途につくことができた。

観光資本に俗化されたオアフ島とは対照的にハワイ島の新鮮さ、生まれたままの姿が印象に残つた。(甲山中)

# 交流学習

—視覚障害児と共に学ぶ—



完全な社会参加と平等を主要課題として、十年間にわたる計画のもとに国際障害者年が始まる。差別と偏見の撤廃・平等と社会的地位の向上、健康の増進と障害の予防・リハビリテーションなど、各級レベルで広く理解と援助を求めている。

この主旨に沿って、わたし達は何を理解しどんな援助をしたらよいのだろうか。正常な人が机上プランで考えることなく障害を持つ人と共にあって、何をすべきかを考えていくのも、この問題に正しく答えるひとつの方法ではないかと思う。

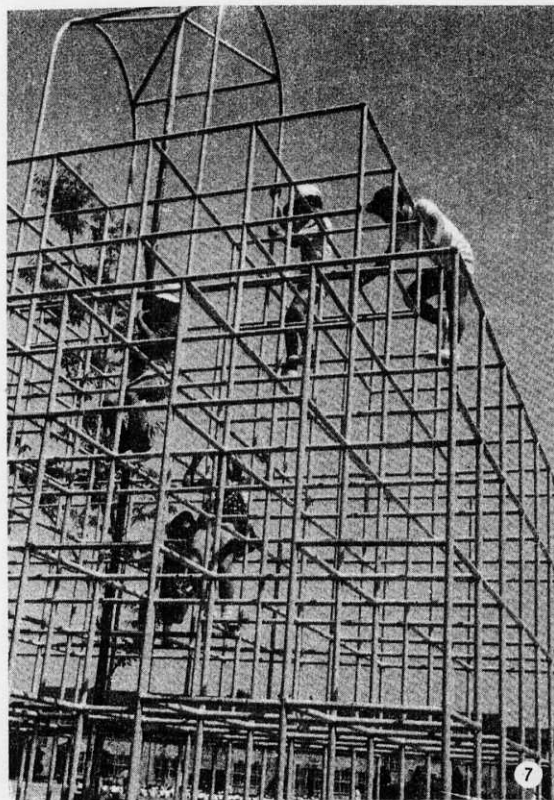
編集委員は、岡崎市にある県立盲学校の児童生徒と交流を進めている三島小学校、竜海中学校を訪ねてみた。三島小学校へは一・二年生合わせて十一人、竜海中学校へは全盲の生徒を含めて十六、七人が、月に二回でかけて、コーラス、フォークダンス、教科の学習（三島小―体育・音楽・国語、竜海中―美術・技術家庭を除く）などを共にしている。

受け入れ側として当初、うまくいくだろうか、特定の教科とはいえ一緒にやれるだろうか、怪我のこと、トイレのこと、下駄箱のことなど不安や心配も多かったと聞く。回を重ねて、心配をしたような事故は一つもなく目が見えなくても一生懸命頑張っている姿を見て、わたし達もしっかりしなくてはと大いに刺激を受けたという。

送り出す盲学校の先生は、勉強という点ではなかなか思うようにはいかないが、普通学校の子と一緒に生活を話し合うことができたこと、視野が広くなったこと、なかでも、友達がたっさんできたことをどの子もたいへん喜んでいると話された。

沈みがちな思いで訪ねた三校であったが、逞しく明るくやっている数々のお話を聞き、ほのぼのとした気持ちで学校を後にした。理解と交流を深めるなかで、同じ仲間として今日もよい日を送ってほしいと思う。





7



4



5



8



6



9

- ① 点字の機械を使って、竜海中の生徒と共に学ぶ
- ② 山の学習を共にし、交流の輪を広げる
- ③ 寝食を共にし、友情を深め合う
- ④ 「よくいらっしやいました」今日から新しく仲間入り
- ⑤ 芝生の上での語り
- ⑥ ネットを低くし、竜中生はアイマスクをして、盲人パレーを楽しむ
- ⑦ 「ワー、のぼれたぞ」三島小の高いジャヤングルジムものぼりきった
- ⑧ 裸のつきあい、おすもうごっこ
- ⑨ 盲学校の文化祭に、三島小の子たちが参加

最優秀賞

●個人研究の部

氏名	学校名	研究主題
金子一元	竜美丘	豊かな表現力をめざして
清水裕	葵	主体的な体育学習を求めて

優秀賞

片山美恵子	山中	確かな記述と心の深まりを求めて
後藤弘	常磐東	「つくる読み」の指導をめざして
神尾房枝	竜谷	基礎基本をふまえて
桑木富士子	美合	社会事象を追求し続ける子どもを求めて
山田靖彦	羽根	見学を中心にした歴史学習の展開
高木和広	城南	地域教材を組み入れた歴史学習
白井正壮	愛宕	社会的な興味関心を高める日記指導
石川昌文	広幡	ひとり立ちの算数学習
竹内春美	細川	充実したひとり調べで足場をかためた磨り合い
杉山隆之	大樹寺	数学的な考え方を育てる指導
中川朗子	大門	自ら学ぶ算数学習をめざして
山本禎夫	愛宕	自主的な「問題解決」をすすめる高学年の理科指導
山本信夫	竜谷	地域の自然に働きかける理科学習
松岡育代	矢作南	生き生きと表現できる子どもをめざして
鈴木幸子	梅園	絵画指導
鈴木勘三	井田	全校皆泳をめざす水泳指導
浅井昭二	城南	自ら学び喜びを感じる鉄棒学習をめざして
岡本知子	連尺	心情豊かな生き生きと活動する子を育てる学級づくり
三浦みどり	細川	進んで取り組む清掃活動
天野道晴	城南	心身共にたくましい子どもを育成
中山秀昭	根石	のびのびと生活する子どもをめざして
高橋純子	羽根	子どもたちが主体的に取り組む授業をめざして
葉山栄子	奥殿	本校における歯科教育の一考察
寛明美	竜美丘	難聴児への読解指導の試み
近藤克実	常磐	言語障害児の指導
岡田豊	六ッ美	わかる、できるいきいきとした授業を求めて
藤井孝弘	城北	統合的発展的な見方・考え方を伸ばす指導
朝雄伸子	城北	個性を生かす授業の組織化はどのようにすればよいか
名倉昭人	矢作	追求活動を促す授業
中根晃	河合	中学校における学級通信のあり方

最優秀賞

●共同研究の部

代表 平岩浩文	広幡	自然を調べる活動を通して
代表 柴田隆夫	葵	自ら見出し、自ら追求していく態度と能力の育成

優秀賞

2年生部会	六名	楽しんで学ぶ国語学習
代表 藤田増一	男川	四年生の毛筆書写指導
太田恭子・山田裕子	矢作南	筋道を立てて考える算数指導
代表 加藤直男	愛宕	自然に対する見方・考え方を育てる「活動」を表現
斎藤博子・中根以津子	城南	豊かな発想を生み出す楽しい理科学習
代表 林和泉	恵田	豊かれた歌声を求めて
生活部会	連尺	生活力を高める「総合学習」
推進委員会	岩津	新しい教育課程の中での金銭教育のあり方
代表 杉本安	緑丘	「みどりの譜」その後
代表 杉山功	井田	遊びの充実をめざして
代表 山内博史	葵	生徒の見方・考え方をいかにして深めるか
数学部会	矢作	できる数学学習
代表 柴田宗一	六ッ美	わかる、できる授業を求めて
山崎直美・蓮尾均	岩津	英語科における基礎学力充実への一方途
現職教育部	美川	豊かな経験を求めて全校体制で取り組んだ「みどりの地球」

55年度教育研究論文入選者

応募総数 406 小学校 個人 257 中学校 個人 61  
共同 55 共同 33

佳作

●個人研究の部

野々山 こそ江	梅園	吉見 信夫	矢作北
大久保 幾三	美合	石川 春次	矢作南
岡山 由美子	六名	鈴木 松三	連尺
後藤 志津代	広幡	志柿 俊朗	梅園
小栗 春枝	愛宕	上川 清玄	根石
高木 明子	城南	鈴木 純子	福岡
稲葉 道彦	美合	島田 成子	緑丘
中根 麗子	男川	河上 真一	本宿
山田 惇子	緑丘	落合 敬子	大門
細井 義雄	羽根	野田 豊	矢作東
福応 謙一	六名	杉坂 美典	六美中
神尾 昌彦	広幡	大日川 和子	福岡
倉橋 勉	山中	太田 多津子	生平
井村 峰子	奥殿	大須賀 紀子	秦梨
石井 洋	大樹寺	西崎 久代	梅園
和田 務	緑丘	内藤 修	岩津
村松 裕	羽根	中根 俊忠	根石
柴田 昭雄	竜谷	石川 誠一	矢作南
鈴木 武	細川	大村 寛	矢作南
岩瀬 義弘	岩津	石原 比朗志	南
斉藤 哲彦	岩津	倉橋 正博	葵
栗田 万砂夫	大門	柴田 誠	東海
三浦 倫夫	矢作南	加藤 一彦	甲山
江村 力	六美南	大山 一男	竜海
稲垣 幸一	竜美丘	山内 博史	葵
宮崎 昌子	井田	黒柳 喜一	竜海
安江 ち系子	竜谷	市川 敏彦	葵
三浦 重光	常磐南	明保 俊通	矢作
塚本 恭代	矢作南	小林 稔	常磐
長谷川 晴彦	三島	早川 円浄	常磐
松田 サエ子	六美北	梅村 憲	六ッ美
飯見 紀夫	梅園	金澤 強	南
奥平 辰弥	三島	山本 悟	東海
矢野 達雄	秦梨	加藤 政幸	竜海

佳作

●共同研究の部

一年国語部会	矢作	代表 峯沢吉史	男川	書写	
一年部会	東海	算数部代表柴田安則	矢作東	算数	
酒井正子・原久	六ッ美	代表 羽根田喜代子	福岡	理科	
美術部	岩津	代表 早川正己	福岡	理科	
代表 杉浦恵美子	甲山	代表 権田茂喜	愛宕	理科	
理科部	美川	代表 長坂喜代美	梅園	音楽	
現職教育部	常磐	音楽部	竜美丘	音楽	
代表 佐伯友之	岩津	代表 春田清司	山中	図工	
代表 高村 廣	矢作	代表 石川守彦	井田	保健	
現職教育部	香山	1年部会	根石	学校図書	
6年部会	代表 遠山真吉	六名	現職教育部	三島	視聴覚
代表 河合澄江	山中	緑化研究部	根石	教育一般	
代表 加藤 進	恵田	代表 堀和正孝	矢作西	教育一般	
中学年部会	矢作東				

# 教育日々



北風のビュウビュウ吹きすさぶ今日も、子どもたちは、ランニングシャツで元気に走る。

耳や手を赤くしながらも、リーダーを中心に全身を動かして準備運動を行う。冷たくて足がもつれそうになるが、二周めころから少し体が暖かくなる。かけあしの終わるころには、汗さえにじんでいる子もある。



年間を通して行っているかけあしの実践が、体力をつくることとは言うまでもないが、寒くても、うす着でこの冬を過ごそうとする意志の強さとなつてあらわれてきている。

## Y子の日記

わたしは、さむきにまけてないよ。それでも、かぜはひいてないし、スカートは、そうはかなくて、はんズボンをはいているんだよ。  
以下略

今の子どもたちは、「持久力

## 「砂糖」の効用

香山中 犬塚尊夫

小学校の頃に、文章題(植木算、流水算、通過算、鶴亀算など)というひねくれた問題があつて、数学が数・我苦になつた子がずいぶんいる。「良薬口に苦し」というが、このような苦しい数学という薬を楽しく飲ませるには、どんな「砂糖」があればよいのだろうか。  
一年生の文字の式でこんな授業をした。次の文章を文字式になおしてみよう。

が足りない」とか、「我慢強さに欠ける」と言われているが、走り通すことにより、辛抱強く最後までがんばる力が、少しずつ備わってきたように思われる。

## がんばる子

六ツ美南小 鶴田生子

し入れや、洋服の脱ぎ着などもスムーズにできない子であつた。言葉は、単語がぼつんと出る程度で話はず、家庭連絡はすべてノートで行う状態であつた。かけあしも、初めは、「お腹

が痛い」と言つて落伍したりすることもしばしばあつた。現在は、仲間の列より遅れることはあるが、泣きごとを言わず、脇腹をおさえて、荒い息をしながらも、完走するようになる。絵が好きで、実に楽しげに絵の中に必ず自分を登場させて鮮明な色で仕上げる。国語の学習を好み、本はすらすら読める。元氣よく手を上げて、短いが、言葉として話せるようになる。

## 「継続は力なり」と言われるが

走り続けることから、「やり通そう」とする強い心が少しずつ育っていることをうれしく思う。

Tそれを、タイルで表すと、

百	+	一
100×2	10×3	1×4

S わかった!!  $2 \times 100 + 3 \times 10 + 4 \times 1$  だから文字にすると、  
 $S \quad a \times 100 + b \times 10 + c \times 1$  なる。  
TXの記号を略して言うとき、  
 $S \quad 100a + 10b + c$   
Sならんだ簡単ジャンノ  
子どもは、ちよつとした「きっかけ」を得れば、非常にスムーズに理解するものである。だから日常の生活の中から、できるだけ



具体的な物をとりあげて「きっかけ」を見い出させれば、数学イコール計算だという先入観を打破することができるのである。一時間中「遊び」で終つてしまった授業もあつたが、解かずぎらいの子どもが少しずつ興味をもつてきたのは「砂糖」のききめのせいである。「スウテキスイリリヨク」に乏しいこのクラスには「砂糖」が特効薬になるようだ。  
教材の見方や教具の作製にアイデアを生かし、楽しい授業をめざして、一人でも数我苦から数楽になるようつとめたい。

# 一年のあゆみ



▶第七回市民大学開催  
(七月十三日～九月十四日)  
六講座開催・会員七五〇名

10	10	10	9	9	9	9	8	8	8	7	7	7	7	6	5	5	5	4	4		
14	10	9	3	30	24	23	14	5	8	5	3	29	20	13	1	13	27	11	3	18	1

新規採用教員九十三名を含めて辞令伝達式  
 現職教育委員会総会 南中  
 第七回岡崎子どもまつり 菅生川原  
 第二十四回中学校総合体育大会(水泳は6・15)  
 緑丘小研究発表会  
 岩津中研究発表会  
 市制施行六十四周年記念式典 教職関係者二十四名表彰  
 市民会館  
 第七回岡崎市民大学開催  
 ①7・13 清水孝之氏 ②7・20 広田栄治氏  
 ③8・3 河合雅雄氏 ④8・10 本多秋五氏  
 ⑤8・31 高田好胤氏 ⑥9・14 岡部伊都子氏  
 第二十四回中学校市長杯総合体育大会開始  
 市内小学校球技大会開始  
 現職教育各部夏季実技講習会開始  
 中国チビツ子大使小紅花芸術団公演 市民会館  
 第十八回小学校水泳大会 井田小・葵中 8・6まで  
 チェコスロバキア青少年少女合唱団と市内児童生徒多数共演 市民会館  
 教職員体育大会 県営グラウンド  
 姉妹都市ウツデバラ親善訪問(教諭一 中学生男女各一名) 9・14まで  
 第十三回中学生新人総合体育大会開始  
 三島小・矢作中NHK全国音楽コンクール県大会優良賞受賞  
 岡崎市吹奏楽祭 市民会館  
 美川中研究発表会  
 第三十回岡崎教育研究会 連尺小・城北中  
 六ツ美中研究発表会  
 三島小第十七回学校放送教育賞・文部大臣賞受賞  
 第二十七回市民体育祭 六名公園  
 第七回中学校技術・家庭科作品展 市体育館  
 第二十七回理科作品展 六名小 10・12まで  
 岩津中給食優良学校県表彰



▶チェコスロバキア青少年少女合唱団と市内児童生徒と共演  
(八月八日)

◀中国チビツ子親善大使「小紅花」芸術団公演 (八月三日)



◀第二十七回理科作品展  
(十月十日～十月十二日)







◀第十七回造形おかざきつ子展  
(十月二十五日・二十六日)

▶三島小・第十七回学校放教教育賞  
文部大臣賞受賞 (十月九日)



3 13	2 21	2 11	1 31	1 30	1 25	1 20	1 14	1 6	12 25	12 12	12 9	12 6	11 28	11 23	11 21	11 11	11 7	11 3	11 1	10 31	10 28	10 26	10 25	10 24	10 21	10 17	
岡崎教育史要第三集発刊 受賞	大樹寺小・矢作東小・城北中東海三県学校図書館奨励賞	第四回県芸術文化選奨に視聴覚部受賞	第七回中学校サッカー競技大会開始	海外研修報告会 婦人会館	第三十二回岡崎市民駅伝競走大会 広幡小研究発表会	井田小体力づくり優良校全国表彰	第二十四回小中学校書き初め展 市美術館	梅園小・矢作中県体育優良校受賞	第七回冬期研修会 少年自然の家	矢作西小研究発表会	三島小研究発表会	第八回教育文化賞授賞式 勤労会館	第三十九回市学校保健大会 健康優良・よい歯の児童生徒表彰 城南小	第八回岡崎のハーモニー 市民会館	連尺小研究発表会	竜海中研究発表会	男川小研究発表会	岡崎小健康優良学校全日本特別優秀校受賞	全国自作視聴覚教材コンクールビデオ作品二本人賞	南中研究発表会	福岡小研究発表会	第十九回小学校陸上競技大会 県営グラウンド	第十七回造形おかざきつ子展 菅生川原	資金優秀校、福岡中優良校受賞	香山中・常磐中・矢作中第二十五回ソニー理科教育振興	第二十二回英語スピーチフェスティバル 太陽の城	奥殿小研究発表会



◀岡崎小健康優良学校全日本特別優秀校受賞 (十一月三日)

▶姉妹都市ウツデバラの児童・生徒との理解を深め、友情のきずなを深める「中学生の親善訪問」 (九月五日〜九月十四日)



◀第二十四回書き初め展 (二月十四日〜二月十八日)

## 昭和55年度研究発表校の研究動向一覽表

発表 月日	校名	分野	研究主題	研究概要	研究資料(研究物・講師・助言者)
5月 27日	緑丘小	全教科	表現 —ことばの力—	感動が表現される時、確かな力が育つ。そのポイントを“ことば”に求め、各分野での子供の高まりを究明した。	研究物：第3回教育実践協議会要項 資料：表現—ことばの力— 著書：続・みどりはもえて
6月 13日	岩津中	特活	基礎学力充実への一方途 —生徒の悩みの解決をめぐり—	生徒の主体的学習の発展の基盤としての助け合い学習と、人格形成の場としての岩中タイムのあり方の追求	講師：名大助教授 安彦忠彦先生
9月 24日	美川中	視聴覚	豊かな経験を通して情報処理能力の育成をめざす —放送学習を生かす指導—	ゆとりの時間の一考察として、放送教育「みどりの地球」に全校で取り組んだ。	研究物：「豊かな経験を通して情報処理能力の育成をめざす」 講師：NHKアナ 鈴木健二先生
10月 3日	六ツ美中	全教科	わかる、できる、いきいきとした授業を求めて —形成的評価を通して—	形成的評価を組み入れた授業設計・形成的評価問題の作成・補充・深化学習の理論と実践的研究をする。	研究物：「わかる、できる、いきいきとした授業を求めて」 講師：日本女子大学 梶田毅一先生
10月 17日	奥殿小	社会	観察力・資料活用力を育てる社会科指導 —地域に教材を求めて—	観察力を高めるために、現場学習を重視し、観察の手だて・仕方・まとめの効果的なあり方をさぐる。	研究物：「観察力・資料活用力を育てる社会科指導」 資料：社会科現場学習指導計画
10月 28日	福岡小	理科	考える力を伸ばす理科学習 —学級づくりを基盤として—	自由研究「見つけたよ」と、稲作畑作—鉢栽培を通して学級づくりを推進した。	研究物：「考える力を伸ばす理科学習」 資料：「咲啄」「見つけたよ」他 助言者：栗田一良先生、川上昭吾先生
10月 31日	南中	特別教育活動	進学指導の正常化をめざして	・進学指導基本方針と学習指導 ・自作資料作りとその活用	・研究物：「進学指導」(58頁) ・司会者：矢作中学校長 長嶋利一先生
11月 7日	男川小	書写	豊かな人間性を育てる書写指導 —基礎基本を大切に—	・学年の基礎基本の事項を育てる。 ・書写学習の意欲化と効率化をはかる。 ・書写の生活化をはかる。	研究物：「育成・書写の友・指導計画」 講師：神谷葵水先生 助言者：内田松夫先生 他5名
11月 11日	竜海中		豊かな情操の育成 —視覚障害児と共に学ぶ—	岡崎盲学校との生徒同志の交流を通して、障害児の理解を深めるとともに、生徒に豊かな情操の育成をはかる。	研究物：「豊かな情操の育成」 講師：国立特殊教育総合研究所情緒障害教育研究室長 昌子武司先生
11月 21日	連尺小		人間性を育てる全人教育の実践	児童の実態を把握し効率の高い指導を行うためカルテ作りをした。また、ゆとりの時間に総合学習をとり入れた。	研究物：連尺の教育—人間性を育てる全人教育の実践 講師：大阪大学 水越敏行先生
12月 9日	三島小	視聴覚教育	視聴覚機器を活用した学習指導 —学習意欲の向上をめざして—	テレビ生視聴による学習指導、その発展としての親子同時視聴、さらに各視聴覚機器の特性を生かした授業研究。	研究物：視聴覚機器を活用した学習指導 講師：加藤明康先生 助言者：太田憲吾先生、加藤憲尚先生
12月 12日	矢作西小	ゆとり時間の活用	思いやりのある矢西っ子の育成 —異質集団活動—	単純な年齢差だけの問題でなく、もっと複雑な能力や、価値観などを含めた異質性に着目し、思いやりを育成。	研究物：思いやりのある矢西っ子の育成 講師：文部省教科調査官 瀬戸真先生
1月 30日	広幡小	国社算・理	「ひとり立ちの学習」を育てる	何のために、何を、どのように学ぶかを子どもが決める学習(主体的な学習)は、どのように進めたらよいか。	研究物：「ひとり立ちの学習」を育てる 資料：「自ら学ぶ」第5集 講師：独協大教授 波多野諠余夫先生



おしらせ

現職教育視聴覚部に

県芸術文化選奨文化賞

芸術文化の振興と向上に貢献した個人や団体に贈られる五十五年度(第四回)愛知県芸術文化選奨の受賞者として、岡崎市小中学校現職教育委員会視聴覚部(部長・太田憲吾大樹寺小学校長)が文化賞に選ばれ、その授賞式が去る二月二十一日午前十時三十分から、名古屋市東区の愛知会館において行われた。

視聴覚部は昭和二十九年、岡崎市小中学校視聴覚教育協会設立と同時に、自作8ミリ教材映画の製作を開始し、今日に至っているが、四十八年からは8ミリ教材映画のほか、ITV(閉回路テレビ放送)番組の教材製作にも着手し、多くの作品を製作して来た。

この間、8ミリ映画「しめな

わ」は全国コンクールで入選。県コンクールでの入賞数七本。ビデオ作品は「衛生センターの働き」「夏涼しい駒ヶ原」島のくらし」が全国コンクールで入選。県コンクールでの入賞数二十本。五十四年には岡崎市教育文化賞を受賞。と、数々の輝かしい実績を残している。

- 【寄贈刊行物・資料等】
- 岡崎のPTA三十年のあゆみ 岡崎市PTA連絡協議会
- 自ら学ぶ 広幡小学校
- 明日の教育を考える 冬季研修会実行委員会編
- 教職員海外研修報告書(五十五年度) 海外教育事情研究会

県より賞を受けたが、今回、日本学校体育研究連合会から、体力づくり優良校に選ばれ、去る一月二十日、東京において表彰を受けた。

▼優良賞九名▼努力賞三十九名

■第三十二回市民駅伝

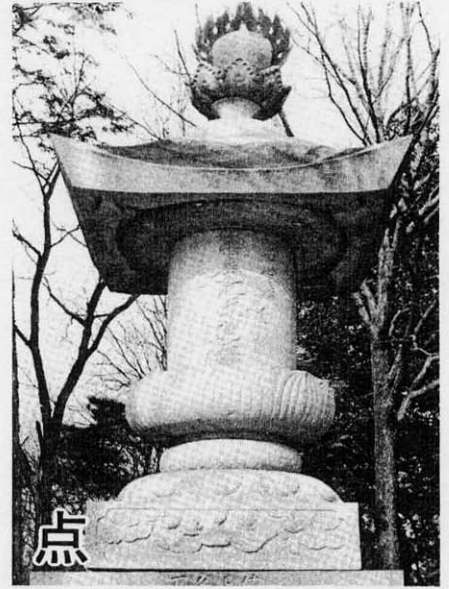
恒例の岡崎市民駅伝は去る一月二十五日・県営グラウンドを中心に行われた。中学校の成績は次の通り。

- ▼優勝福岡A▼二位矢作A▼三位城北A▼四位東海A▼五位岩津A▼六位葵A
- ▼岡教組五十六年度役員決まる
- ▼執行委員長 河合洋人・連尺
- ▼副委員長 中根恒夫・岩津
- 中▼書記長 岡安信彦・甲山中
- ▼書記次長 清水厚治・城北中
- ▼組織部長 石川春次・矢南小
- ▼情宣部長 金子一元・竜美丘
- ▼小教文部長 杉浦健丈・六ツ
- 海中▼福対部長 牧野好博・東
- 岡中▼青年部長 杉坂善典・六
- 中小▼婦人部長 松井きよ子・
- 根石小▼会計委員長 金沢強・南
- 中▼会計監査 中山昌司 矢作中
- 山田一恵・藤川小

昭和55年度 中学校陸上・水泳最高記録

○印は新記録

性別	種目	記録	氏名	校名	種目	氏名	校名	記録	
男	1年 100m	12" 8	杉浦 政彦	城北	100m 自由形	山田 哲郎	城北	1-00-7	
	100m	11" 5	中野 晋作	美川	200m 自由形	石井 理一	矢作	2-16-2	
	400m	53" 2	宮本 勝巳	甲山	400m 自由形	石井 理一	矢作	○4-48-08	
	800m	2' 05" 4	太田 文明	福岡	100m 平泳	麻生 秀紀	矢作	1-15-06	
	1-2年 1,500m	4' 20" 3	鈴木 伸治	城北	200m 平泳	麻生 秀紀	矢作	2-44-1	
	3,000m	9' 28" 8	服部 光幸	城北	100m 背泳	山田 哲郎	城北	1-09-58	
	100m H	13" 8	大沼 一毅	矢作	200m 背泳	遠山 健志	竜海	2-41-32	
	800m R	1' 37" 4	三沢 大沼	矢作	100m バタ	畔柳 圭司	甲山	1-07-1	
	低 400m R	48" 7	鈴木 大沼	美川	200m バタ	太田 忠行	美川	○2-29-0	
	走 幅跳	6 m 28	石原 靖士	東海	200m 個メ	山田 哲郎	城北	○2-24-5	
女	走 高跳	1 m 75	今井 友規	東海	400m 個メ	太田 忠行	美川	○5-18-3	
	砲 丸 投	15 m 74	梅田 厚史	東海	400m 混 R	中村 野柳	甲山	4-48-08	
	三種競技A	2545	中野 晋作	美川	400m R	畔柳 杉田	甲山	4-22-2	
	子	1年 100m	13" 2	増田 純子	美川	800m R	野村 礼子	矢作	9-32-99
		100m	12" 9	太田まゆ美	美川	100m 自由形	野村 礼子	甲山	1-08-12
		200m	27" 9	太田美奈子	福岡	200m 自由形	野村 礼子	甲山	2-31-5
		800m	2' 29" 8	鈴木ゆかり	葵	400m 自由形	紺野 恵子	竜海	5-12-2
		100m H	15" 8	石川小重子	岩津	800m 自由形	野村 礼子	甲山	11-09-88
		400m R	53" 0	佐野 二村	六ツ美	100m 平泳	太田 礼美	福岡	1-25-37
		低 400m R	53" 2	佐野 久留	美川	200m 平泳	大島 洋恵	矢作	3-00-7
走 幅跳		5 m 02	中間 洋子	矢作	100m 背泳	中根千代子	甲山	○1-17-75	
走 高跳		1 m 58	市川 信子	岩津	200m 背泳	岩附留美子	矢作	2-47-11	
砲 丸 投		12 m 12	馬居 晶子	矢作	100m バタ	紺野 恵子	竜海	○1-12-16	
子	三種競技A	2523	山下多美子	岩津	200m バタ	酒井 香江	葵	○2-40-43	
	走 幅跳	5 m 02	中間 洋子	矢作	200m 個メ	紺野 恵子	竜海	○2-40-9	
	走 高跳	1 m 58	市川 信子	岩津	400m 個メ	稲家 ユミ	矢作	6-01-0	
	砲 丸 投	12 m 12	馬居 晶子	矢作	400混 R	中根 小畑	甲山	○5-10-71	
	三種競技A	2523	山下多美子	岩津	400m R	野村 八田	甲山	4-40-86	



所在地—岡崎市鴨田町

## 徳本上人名号石

鴨田派出所から東へ約四百メートル、県営グラウンドへ向かっていくと、「荒井山さん」と親しまれている九品院がある。駐車

から賜った歌を刻みつけてあり、徳本上人の御真筆である。

場から、林の中の小道を登っていくと、小高い丘の上に、本堂を見下ろすように徳本上人の名号塔が立っている。高さが三メートル以上もある立派なもので、文政十二年（一八二九）の年号が見られる。

徳本上人は、十六才で仏門に入ってから六十一才で亡くなるまで、横になって眠ることをせず、山の上で、日に五千回から七千回も礼拝するなどの修行をされた。また、「南無阿弥陀仏」の名号を広めるため、各地を行脚され、その先々で名号石や名号塔を残された。

御住職に伺ったところ、徳本上人の高弟である徳住上人が九品院を開山された時に建てられたものであるという。徳本上人

この近くでは、九久平にも、徳本上人の御真筆の立派な名号塔があるが、岡崎には、九品院にあるだけといわれている。

●カット

岡崎小 富田良子

## この本を

- |                |             |           |        |
|----------------|-------------|-----------|--------|
| ○嵯峨野日記（上・下）    | 新潮社         | 瀬戸内晴美     | 1,000円 |
| ○摘み草入門         | 女子栄養大学出版部   | 福島 誠一     | 980円   |
| ○モッキングバードのいる町  | 新潮社         | 森 禮子      | 780円   |
| ○日本人と「日本病」について | 文芸春秋社       | 山本 七平     | 950円   |
|                | ○建築用語漫歩     | 岸田 秀      | 1,300円 |
|                | 文化出版局       | 矢田 洋      | 680円   |
|                | ○広中平祐の家庭教育論 | 広中 平祐     | 980円   |
|                | 講談社         | 水上 勉      | 1,200円 |
|                | ○ものの聲 ひとの聲  | 小学館       | 980円   |
|                | ○詩歌 折々の歌    | 講談社       | 1,200円 |
|                | ○メモと日記の方法   | 潮出版社      | 980円   |
|                | ○長男の本       | 情報センター出版局 | 780円   |
|                |             | 斎藤 茂太     |        |

おくることば。さりゆくあなたに……

信じられぬと嘆くよりは、人を信じて傷つく方がよい。人は悲しみが多いほど人にはやさしく、できるのだから……

社会見学のバスの中で元気いっぱい歌う子供達の声をきいてなぜかほろりとした。初めてきく歌に感動もした。卒業の時歌ってやりたい詞……

## オアシス

新年を迎えたと思っていたら、もう卒業式。ふと、岸田杢子の詩が思い出された。誰でも、長い一生の間に、一度は誰もいなくなった教室の椅子にすわることがある、という詩である。

そんな時が何十年後にきたとしたら、この子たちの胸に去来するのは、なんだろう。卒業式を前に、考えてしまった。

「仰げば尊し、我が師の恩……」

音楽室から聞こえる歌声。卒業式間近を感じさせる。義務教育九年を終え、巣立ちゆく生徒たち。期待と不安の交錯した面持ちの彼らを見るにつけ、暴走族、竹の子族……といった自分の楽しみだけを求める人にならないで欲しいと願うこのごろである。

酸葉（すいば）の芽の出る季節。すかんばの異称がある。若い莖は食べることできる。とても酸っぱい。「土手のすかんばジャワサラサ……」と子どもの頃歌ったのもなつかしい。

季寄せ（虚子編）三月の季語である。すかんばや人が通れば泣きやむ子 稲女 春の盛りも間近である。